

中川博之^{a,*}, 佐藤 謙^b: 北海道産エゾイトイ (イグサ科) を約 100 年ぶりに確認する

^aノーザン クリフ フロラ 研究所

^b北海道大学総合博物館資料部

Hiroyuki NAKAGAWA^{a,*} and Ken SATO^b: Reconfirmation of *Juncus potaninii* (*Juncaceae*) Missing for a Century in Hokkaido, Japan

^aNorthern Cliff Flora Lab, A6-406, 6, Oasa-nakamachi, Ebetsu, Hokkaido, 069-0854 JAPAN;

^bMaterial Section, The Hokkaido University Museum, N10W8, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0810 JAPAN

*Corresponding author: hiroquena@gmail.com

(Accepted on December 17, 2019)

Summary: The distribution of *Juncus potaninii* Buchenau (*Juncaceae*) was reconfirmed at Mt. Furano-dake, Daisetsuzan Mountains, Hokkaido, Japan for the first time in about 100 years.

イグサ科のエゾイトイ *Juncus potaninii* Buchenau は、本州中部 (八ヶ岳・塩見岳)・北海道・朝鮮半島・中国に分布する (宮本 2015)。しかしながら、北海道産のエゾイトイは、小泉秀雄により 1915 年に大雪山系カムイメトクヌプリから、また 1917 年には上富良野村から採取されたが、その後の約 100 年間、存在が未確認のまま経過していた。筆者らは、現在使用されていない山岳名の「カムイメトクヌプリ」を推測しながら、関係行政機関による高山植物等採取許可を得て、2019 年 7 月 11–12 日、22 日ならびに 8 月 5 日、大雪山系十勝連峰の上ホロカメットク山から富良野岳周辺を踏査し、エゾイトイと思われる植物を採取した (Fig. 1A)。

宮本 (2015) は、エゾイトイと本州中部・朝鮮半島・台湾・中国に分布する近縁種イトイ *Juncus maximowiczii* Buchenau の両種について、佐竹 (1994) に準拠して記述した上で、エゾイトイの記述の最後に「日本産本種はイトイの小型のものと考えられ、今後の研究が必要である。」との課題を記している。この観点を踏まえ、筆者らの同定作業では、エゾイトイとイトイに関する既存文献の記述内容を整理し、筆者らの標本と比較検討した。その結果、北海道産エゾイトイを約 100 年ぶりに確認したので、ここに報告する。

りに確認したので、ここに報告する。

形態的特徴

2019 年 8 月 5 日、筆者らの一人、中川が採取した証拠標本 (大雪山系富良野岳, H. Nakagawa 19041–19043, SAPS 054328–054330) に認められる形態的特徴は、以下の通りである (Table 1)。

根茎は短く叢生。花茎は高さ 4.2–9.0 cm, 太さ 0.2–0.3 mm。基部の鞘状葉は数個、根生葉は多数、茎葉は 2 個。葉鞘の葉耳は膜質で微小。葉身はやや扁平、長さ 2.3–9.5 cm, 幅 0.3–0.5 mm。頭花は 1 個頂生。小花は 1–2 個。苞は卵形、膜質で鋭頭まれに芒端、2 (1 小花の場合)–3 個 (2 小花の場合)、長さ 1.4–3.9 mm。花被片は披針形で鋭頭~やや鋭頭、膜質で中肋周辺は淡緑色、長さ 2.8–3.6 mm, 幅 0.7–1.1 mm, 内片は外片よりやや長い。雄蕊は 6 個、花被片よりやや長い。花糸は長さ 2.3–3.0 mm, 花被片よりやや短い。葯は長さ 0.6–0.9 mm, 花糸より著しく短い。蒴果は楕円形、嘴状の頂部を含み長さ 2.9–3.6 mm, 花被片よりやや短いか長い。種子は狭楕円形、白色の微小な付属体があり、付属体を含み長さ 0.6–0.8 mm。

同定結果

エゾイトイとイトイの形質に関して、証拠標本と既存文献の記述内容を比較検討した (Table 1)。その結果、富良野岳の標本は、多くの形質においてエゾイトイの変異内にあり、花茎の高さ、葉身の長さ、花被片の長さに関しては変異幅よりやや

また、韓国 DMZ 自生植物園の Lee Ahyoung 博士には、韓国文献の和訳という大きな助力をいただいた。さらに、北海道大学植物園の富士田裕子博士と北海道大学総合博物館首藤光太郎博士には、有益なアドバイスをいただいた。本研究における植物採取は、大雪山国立公園、国指定特別天然記念物ならびに国有林における許可を得て進められた。以上の方々に深く感謝申し上げる。

摘要

大雪山系富良野岳にて約 100 年ぶりにエゾイトイ (イグサ科) が確認された。

References 参考文献

- Katui Y., Takahashi T. and Doi S. 1963. Scale 1:50,000 Explanatory Text of The Geological Map of Japan, Tokachidake. Hokkaidokaihatucho, Sapporo (in Japanese). 勝井義雄, 高橋俊正, 土居繁雄 1963. 5 万分の 1 地質図幅説明書, 十勝岳. 北海道開発庁, 札幌.
- Kitamura S., Murata G. and Koyama T. (eds.) 1964. *Juncaceae*. Coloured Illustrations of Herbaceous Plants of Japan III *Monocotyledoneae*. pp. 159–167. Hoikusha, Osaka (in Japanese). 北村四郎, 村田源, 小山鐵夫 1964. イグサ科. 原色日本植物図鑑 草本編 III 単子葉類. pp. 159–167. 保育社, 大阪.
- Koidzumi G. 1916. *Decades plantarum novarum vel minus cognitarum*. Bot. Mag. (Tokyo) **30**(358): 325–333.
- Koidzumi H. 1918a. Hokkaido Cyuokochi no Chigakutekikenkyu. Sangaku 12, Nos. 2, 3. The Japanese Alpine Club, Tokyo (in Japanese). 小泉秀雄 1918a. 北海道中央高地の地学的研究. 山岳 第十二年第二, 三号. 日本山岳会, 東京.
- Koidzumi H. 1918b. Hokkaido Chuokochi no Chigakutekikenkyu Fuzu. Higashikawa-cho Taisetsuzan Archives possession (in Japanese). 小泉秀雄 1918b. 北海道中央高地の地学的研究附図. 東川町大雪山アーカイブス所蔵.
- Lee T. B. 2006. Coloured Flora of Korea. 2nd edition. 2: 656–657. Hyangmunsa, Seoul (in Korean).
- Miyabe K. and Kudo Y. 1932. Flora of Hokkaido and Saghalien. J. Fac. Agr. Hokkaido Imp. Univ. **26**(3): 279–384.
- Miyamoto F. 2015. *Juncaceae*. In: Ohashi H., Kadota Y., Murata J., Yonekura K. and Kihara H. (eds.), Wild Flowers of Japan. Revised and Enlarged Edition. **1**: 287–293. Heibonsha, Tokyo (in Japanese). 宮本太 2015. イグサ科. 大橋広好, 門田裕一, 邑田仁, 米倉浩司, 木原浩 (編), 改訂新版日本の野生植物 **1**: 287–293. 平凡社, 東京.
- Ohwi J. and Kitagawa M. (revised) 1983. *Juncaceae*. Flora of Japan. pp. 375–382. Shibundo, Tokyo (in Japanese). 大井次三郎, 北川政夫 (改訂) 1983. イグサ科. 新日本植物誌顕花篇. pp. 375–382. 至文堂, 東京.
- Satake Y. 1994 *Juncaceae*. In: Satake Y., Ohwi J., Kitamura S., Watarai S. and Tominari T. (eds.), Wild Flowers of Japan, Herbaceous Plants **1**: 66–71. Heibonsha, Tokyo (in Japanese). 佐竹義輔 1994. イグサ科. 佐竹義輔, 大井次三郎, 北村四郎, 亘理俊次, 富成忠夫 (編) 日本の野生植物 草本 **1**: 66–71. 平凡社, 東京.
- Tatewaki M. 1950. Tokachidake-sani no Shokubutsu. Sapporobuncido, Sapporo (in Japanese). 館脇操 1950. 十勝岳山麓の植物. 札幌文栄堂, 札幌.
- Tatewaki M. 1954. Kakuri-bunpu Hokkaido Kenka-shokubutsu-ni-tsuite. Shokubutsu-seitaigaku-kaiho **3**(4): 250–270. (in Japanese). 館脇操 1954. 隔離分布 北海道顕花植物について. 植物生態学会報 **3**(4): 250–270.
- Tatewaki M. and Samejima J. 1959. Alpine Plants of The Central mountain District, Hokkaido, Japan. Asahikawa-kyorinkai, Asahikawa (in Japanese). 館脇操, 鮫島惇一郎 1959. 北海道中央高地の高山植物. 旭川協林会, 旭川.
- Wu G. F. and Steven E. C. 2000. *Juncaceae*. In: Wu Z. Y. and Raven P. H. (eds.), Flora of China **24**: 44–64. Science Press, Beijing and Missouri Botanical Garden, St. Louis.
- Yun K. W., Jo H. and Kim M. 2014. A new species of *Juncus* (*Juncaceae*): *J. baekdusanensis* M. Kim. Kor. J. Pl. Taxon. **44**(4): 238–241.